



国際ロータリー第2610地区  
南砺ロータリークラブ



# クラブ会報 **なんと**

NO. 2660

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail [office@nanto-rc.jp](mailto:office@nanto-rc.jp)

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/福光会館2Fサークルルーム1 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ぶくろ光駒内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

川越大師喜多院の紅葉

尾山裕和会員撮影



## ◆幹事報告 森 悦夫幹事

①ガバナー事務所からの案内の件  
 (ア)2025年米山記念奨学生所属クラブ「世話クラブ」の募集  
 (イ)ロータリー希望の風奨学会「風の便り」  
 (ウ)文庫通信のご案内389号  
 (エ)コーディネーターNEWS2025/1月号  
 (オ)ポリオポータルサイトの新設  
 ②例会変更他  
 (ア)例会変更 射水、高岡万葉、高岡北、氷見、高岡西の各RC  
 (イ)新年懇親会 令和7.1.7. 理事会17:30～ 懇親会18:00～ みや川  
 (ウ)3RC合同懇親会 2025年2月18日(火)→19日(水) みや川  
 ◆次年度理事・役員発表 石崎和三(2025-26)会長  
 副会長：森雄一、会長エレクト：尾山裕和、幹事：野村守、副幹事：谷村賢治、会場監督：安居利浩、副会場監督：石崎雄世、会計：山田清志、会計監査：片山道代、直前会長：久患龍三、理事：上坂英伸、吉田実、谷口和尋、山田孝、木村伊徳、古瀬喜八郎。  
 地区の役員は岡部一輝バスター、水口秀治RA委員。

## 第2721回例会 令和6年12月24日(火) 曇

- ◆点 鐘 12:30 久患龍三会長
- ◆司 会 谷村賢治SAA
- ◆ゲスト 張 建明氏 =写真⇒
- ◆ソング 「それでこそロータリー」



### ◆会長の時間 久患龍三会長

今年も残すところ一週間となりました。今年皆さんのとってどんな年だったでしょうか。

年の瀬の恒例行事と言えば流行語大賞です。今年は「ふてほど」だそうです。一度も聞いたことのない言葉で、「何？」と思いました。聞けばTBSドラマの「不適切にもほどがある」が由来だそうです。主演の阿部サダヲさんも「一度も使ったことが無いのに？」と不思議がっていたそうです。ドラマ自体は人気があってかなりヒットしたそうですが、なんでも略せばいいものじゃないですね。もう少し日本語を大切にしてほしいですね。

もう一つの恒例行事は今年の漢字です。今年は「金」だそうです。これも今一つピンとこないですね。パリオリンピック・パラリンピックで日本勢が大活躍したのと、佐渡金山が世界遺産に登録されたこと、政治の裏金問題などの影をあらわす「金」あたりが選ばれた理由かなとは思いますが……。ちなみに、石川県のトップは「災」富山県は「震」だそうです。

で、私が選んだ今年の自分の漢字は「圧」です。会長という分不相応な大役を仰せつかったからの半年、親子ふれあいフェスに始まり、輪島への炊き出し、砺波ライオンズとの懇親ゴルフ、輪島・珠洲への支援物資のお届け、ガバナー訪問、富士見RC50周年への出席、クリスマス家族会と怒涛の日々はあっという間に過ぎてしまいました。中でも例会での会長の時間と原稿の提出は毎回悩みの種でした。正に「圧・プレッシャー」との戦いの日々でした。

今日から、自動的に原稿を起こしてくれる優れ物のボイスレコーダーが採用され、少しは牧さんからの「圧」から解放されそうです。後半は「圧・プレッシャー」を「力・パワー」に変え、あまりできなかった会員増強に注力したいと思いますので、皆さんのご協力をお願いします。

## ★ニコニコボックス 12/24 吉田美花委員長

久患君 張 建明さん、ようこそ。  
 吉田美君 ゆめうさぎ2015年12月23日プレオープンして、昨日で丸9年になりました。皆さんに感謝です。  
 木勢君 今日は卓話担当です。よろしくお願ひします。  
 森 雄君 今年最後の例会です。皆様、よいお年をお迎え下さい。  
 柿 君 干し柿の出荷も最終盤です。何とか年を越せそうです。来年もよろしくお願ひします。張 建明さん、お久しぶりです。  
 鮫島君 クリスマスイブです。別に何もありませんけど。  
 谷村賢君 連日の忘年会が身体をおしばんでいます。ついには眼にまできました。  
 尾山君 年末に向けて、まだ仕事が残っています。師走ですね。  
 川合君 張 建明さんお元気そうですね。卓話楽しみです。  
 石崎和君 張 建明さん、お久しぶりです。元気そうで良かったです。  
 安居君 メリークリスマス!今年もたくさんの方々にお世話になりました。来年もよろしくお願ひします。  
 高瀬君 早いもので今年最後の例会ですね。建明さん、ようこそ!また中国の歌、歌いましょう。  
 本田君 先日のクリスマス家族会、皆さんのおかげで無事成功裡に終わりました。新年懇親会もよろしくお願ひします。  
 石崎雄君 先日のクリスマス会では、妻と長女も参加させて頂きました。お世話頂いた本田委員長、鮫島さん、高瀬さん、ありがとうございました。  
 上坂君 今年も一年みな様ありがとうございました。一年ってあっという間ですね。  
 木村君 一年過ぎるのが早く、バタバタして終える感じがです。来年は充実した年になればと思っています。

**本日のプログラム** 1月7日(火) 第2722回例会  
 《例会変更》新年懇親会 みや川  
 担当 親睦活動委員会 本田 敏委員長

### ◆出席報告 上坂英伸出席委員長

会員数	12月24日出席率	12月10日(修正)
45 (免除1)	71.11% (出32)	66.67% (出30 内メーク0)

### 次回の予定 1月21日(火) 第2723回例会

職業奉仕セミナー  
 担当 職業奉仕委員会 吉田 実委員長



今年度DEI委員長を拝命しました。皆さんもなんのこっちゃと。本当に何のこっちゃですね。私の卓話のタイトルは一発でわかるDEIについてというタイトルなんですけど、実は先月のですね。1月24日に金沢市のもの作り会館において、DEI担当者研修会がありました。何をやってきたかということ、ディスカッションですね。その時の資料が皆さんのところへ一枚ずついってると思うんですけど。

まあ分からない、地区のDEIも分からない、そういう状況であります。討論の進め方ですけど。ダンボールを丸く並べて各自の膝の上にそのダンボールを置いて、書いたりするというので、マジックで、まあ、私の場合は、名前と所属クラブと会員数と、あと自分のクラブの特徴とかということ、お互いにこうやってしゃべる、いろんな研修会がありました。

DEIは中身についてですけど、今皆さんお手元にありますちょっとまとめようがないもんですから、そのまま印刷して皆さんにお配りしました。本当に分かってないっていうの。私も今ちょっとこの日のために勉強して、見当違いとは言いせんけども、ちょっとやっぱ分かってないから、こういうことしか出てこないんだなという、印象を持ちました。例えば席を指定して毎回違うメンバーと話す機会を設けるとか、要はクラブの活性化、クラブ活動の活性化の例をいくつも出てくる。例会に奥さんが代理出席というのがあるんですね。それから、仕事にでも大丈夫です、当クラブにおいても、全く自由にやっておりますね。

それはまた随時見ていただいて。全てでもないしこういうこともあるのかなと。それから、まあ、女性会員がたくさんいるところもあると。色々なことですけども。

とにかく手探りですね、なぜ手探りからという本質に入りますけども、そのDEIっていうのはですね。英語の訳ですけども。ダイバーシティ(多様性)ということ、エクイティ(公平性)、それからインクルージョン(包括性)の頭文字でDEIですね。

三つもあるから私も分からなかったんです。実はインターネットでロータリクラブDEIとで打ち込んで検索しましたら、YouTubeの一時もんでですけど、ありました。とにかく見るわと字幕日本語で出ましたので、一応一時再生じっくり聞いて。あの今の会長とは違うんですね。

ジェニファージョーンズさんという方の年度であります。とにかく一発で分かるDEIって私も理解したくて模索をしといたら、この三つのDEIのうち、最後のインクルージョンを理解すればわかるという私の思いに至っております。それで、そのYouTubeによると、あの南アのケープタウンで開催されたDEIの会合は何だったか。実はRIはロータリアンの中で、DEIとに基づいて活動している6人の方々を表彰したんです。その表彰された方のクラブというのは、まあ国政国情の悪いところです。表彰される前に4人のパネラーが話され、そのマンデラ財団の方がかなり勉強しておられまして、インクルージョンと多様性はなぜ重要なのかということと話されました。我々は日本という国の海洋国家で周り海に囲まれて単一民族で単一言語です。世界的に言うんですけど、移民があつたり一つの国で11の言語を話す国があつたりで、この世界において人々が移住してきた歴史を考えれば、移住した場所での違いを受けるニーズというのは常にありました。常に逆に後から入ってきた人はいろいろ苦労するわけですよ。その国の言葉も覚えなきゃいけないという事を巧くやってきた国や社会は本当に発展してきました。

特定の人々が疎外されたりそれから隔離される一つの例として、要するに協力してやっていると、地域社会を基盤とする組織との協力で自分たちだけではできないので、パートナーシップを築く必要があるという視点ですね。(中略)

私最初この間に11月に行って、研修でやってきたと思うレベルとかなんというか、あまりにも落差ありすぎましてね。私がその一発でわかるという表現者はそういうことなんです。要は各クラブの活動において、そんな大きい問題が扱えるのかな？DEIを組織として作ったから、やれやれっていう。おかしいですけどね。委員会を作ってやるんだと言うんですけど。

私自身今期じゃあ何をすればいいのかなと、まずは勉強したいと思いましたが、それは国際ロータリーで考えていることは非常にレベルの高いDEIです。

要は受けれるという話、そういうことによって社会的貧困だとかいろいろなことをなくしていくよっていう話なんです。女性とか外国人労働者障害者性的マイノリティなどの少数派であっても、多数派から迫害などを受けることなく、それぞれの個性が尊重されている状態をインクルージョンと言って、この言葉は自信という概念はヨーロッパのですね、社会福祉政策の理念がルーツで1970年から80年代に、フランスで社会問題となっていた。ソーシャルエクスクルージョン(社会的排除)への対策として展開された。

要するに弱者が就職できないとか、そういうことを何とかしようという流れの中から始まっていったということですね。近年ではビジネスにおいても今度逆ですね。あのDとIだけね、D&I、もしくはI&Dとして、企業戦略として取り入れられて来ております。

それを導入したらどんなメリットがあるかということの一つとしてはですね、人材の確保定着につながる、新しい発想やイノベーションが生まれやすい。それから制度やね。そういうものを取り組としてはね、次のものがあるというのは、育児休業、介護休業、短勤務、フレックス勤務、テレワークそのライフステージや事情に合った働き方を選べる制度や環境の整備だけでなく、従業員一人一人がお互いを尊重するような企業文化を醸成していくことが必要だということで、このDEIという三文字じゃなくて、DとIだけを取ってね。D&I、もしくはI&Dということが分かりました。この後どうやって委員会として、活動していけばいいかな。ロータリーの活動は楽しく、いろんな人と、もうロータリーはもともと、一応一人一業種ということで、同業者の集まりではなくて、いろんな考えのもった人と活動する団体ですから。それで、まあ、仲良くやってくと、お互いが生きていくのが本質じゃないのかなということ。ただ、あの世界の最先端のところでは、先ほどご紹介したようにものすごい事やっておられる。だけど、じゃあ我々のクラブでは独自に何をすればいいのかというのは実際見えませんので、一応委員長を仰せつかりましたけども、また皆さんもインターネットで見る機会はありますので、見ておいてください。

ロータリーとしては、昔からポリオとか交換留学生を一生懸命話してきてますけども、それらの奉仕の一つにこれが加えられたのかなという気はしますね。ですから皆さんにご紹介しておけばと思って卓話準備しましたけども、時間があれば、もっと話すことができたんですけど。これで終わりたいと思います。ありがとうございました。(音声認識文字起こしした記録を要約)

2610地区 DEI事例集 As of 2024.11.4

Table with 4 columns: 運営方法, 浸透方法, 組織の在り方, 生業・社会. It lists various DEI initiatives and their impacts across different Rotary clubs.

(今回の会報担当: 谷口和尋)